

未来社会創造事業 探索加速型探索研究
事後評価結果

1. 領域

「超スマート社会の実現」領域

2. 重点公募テーマ

多種・多様なコンポーネントを連携・協調させ、新たなサービスの創生を可能とするサービスプラットフォームの構築

3. 研究開発課題名

都市気象情報プラットフォームの研究開発

4. 研究開発代表者名(機関名・役職は評価時点)

森 康彰(一般財団法人日本気象協会 事業本部 環境・エネルギー事業部 副部長)

5. 評価結果

風水害の大型化や熱中症対策、また産業におけるドローン活用が進む中で、都市部における高密度で迅速な気象予測モデルを立てるという本研究開発への期待は大きく、重要な社会課題解決への貢献も期待できる。

一方、POC 設定においては、都市気象プラットフォームが具体的にどのように社会実装されるのかの道筋や、都市部におけるドローン配送システムの実現に向けて本技術がどのように貢献しうるのかが明確ではなかった。ドローンの運行管理面でのレギュレーションや安全対策など含めた総合的なドローン配送システムの実現イメージと本プラットフォームの位置づけなどの明確化が望まれる。

以上の結果、本研究開発課題は探索研究で終了となったが、研究開発は着実に進捗しており、今後の進展についても期待が持たれる。

以上